

## 第1節 近代への胎動

### 3

### 近代思想のいぶき



- (1) 本居宣長が「古事記」などにい日本古来の精神をみだし、何として集大成したか。
- (2) 平田篤胤が、仏教や儒教を激しく非難し、天皇を尊ぶことを説いた。このこと何というか。
- (3) 尊王思想と外国を撃退するという思想。
- (4) オランダ語の学術や知識。
- (5) 杉田玄白や前野良沢らによって、翻訳された本。
- (6) 長崎に鳴滝塾を開いたドイツ人。
- (7) 大阪に適塾を開いた人物。
- (8) 全国の沿岸を測量させて「大日本沿海輿地全図」を作成した人物。
- (9) 身分制社会を否定し。全ての人々が農耕に従事する自然の世の実現を説いた人物。
- (10) 江戸中期に大坂の有力商人が出資してつくった学問所。

国学

復古神道

尊王攘夷論

蘭学

解体新書

シーボルト

緒方洪庵

伊能忠敬

安藤昌益

懐徳堂